

岡森連時報

発行
岡山県森林組合連合会
 岡山市北区楡津491-1
 電話 086(236)6530
 FAX 086(236)6531
 ホームページ
<http://www.okmairen.or.jp>



岡山県森林組合連合会
 代表理事会長
 小野 泰弘

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素から森林組合系統の業務の推進につきまして、特段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症が国内外において猛威を振るい、感染への不安や緊張の中、皆様方におかれましては、様々な困難の中での業務推進に敬意を表す次第です。世界経済に甚大な影響を及ぼしている新型コ

ロナですが、林業・木材産業界においてはアメリカの住宅建設需要増等に影響され、世界的に建築木材の需要が逼迫して、木材の国内価格が上昇する、いわゆる“ウッドショック”と呼ばれる状況が引き起こされ、一時的には約20年ぶりに柱材用のヒノキ3m丸太が立方メートル当たり5万円を超える状況となりました。

また、昨年は長年の懸案でありました、当連合会本会の新事務所が、3月に岡山市北区楡津に完成し、7月から業務を開始することができ、役員一同、新たな気持ちで第一歩を踏み出すことができました。これまで、堅調な事業を重ねて、今日に至ることができましたのもひとえに森林組合や林業関係者皆様のご支援の賜物と衷心から感謝申し上げます。

さて、森林の有する多面的な機能を継続的に発揮するために、2019年に森林経営管理制度が開始され、森林整備を担う森林組合への期待がますます大きくなっており、戦後造られた人工林を中心に蓄積量

が増加し、本格的な利用期を迎えており、この豊かな森林資源の有効活用を一層進めていくためには、住宅資材のみならず非住宅・中高層建築資材、公共建築物の木造、木質化および木質バイオマスの利用などの多様な木材利用に国全体として取り組み、2050年のカーボンニュートラルの実現を目指していく必要があります。

森林組合系統においては、昨年4月に「森林組合法の改正」が施行され、森林組合系統の経営基盤強化を目指すため、植栽、間伐や、再造林等の適切な森林整備など、持続的に森林を管理するとともに、木材利用の拡大の実施、林業・木材産業を安定的に成長発展させることで、山村等における林業への就業機会の創出と所得水準の向上などの林業の成長産業化の実現に取り組む決意であります。

弊会においても、県下3箇所にある木材共販所において、引き続き木材の安定供給に努めるほか、再造林費、下刈費（5年間）を支援する「皆伐・再造林促進支援事業」、事務局を務めている（公社）岡山県林業振興基

金の業務とも連携し、現場の技術者の確保・育成を推進する「緑の雇用事業」などの事業を強力に推進し、「林業の成長産業化」の一翼を担うよう努めているところであり、また、新たな取り組みとして、

運搬用ドローンを導入し、造林事業等の労働強度の低減を支援するほか、搬出経費軽減を図る「中間土場におけるサテライト共販」の実施や県内の森林認証林から出荷された認証材を「県産材合板」として製品化するなど、森林所有者の所得向上につながる新たな取組に積極的にチャレンジしているところでございます。

本年も岡山県森林組合連合会への皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新しい年が、皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう、心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。



【令和3年7月より新事務所にて業務開始】

謹んで初春のお慶びを申し上げます
 令和四年 寅

岡山県森林組合連合会

- | | |
|----------|--------|
| 代表理事会長 | 小野 泰弘 |
| 副会長理事 | 竹本 俊郎 |
| 代表理事専務 | 池田 稔 |
| 理事 | 井上 稔朗 |
| 理事 | 丸田 一徳 |
| 理事 | 鳥越 康生 |
| 代表監事 | 長代 直行 |
| 監事 | 小椋 美博 |
| 監事 | 小橋 仙敬 |
| 監事 | 實村 文昭 |
| 総務部長 | 井上 純一 |
| (兼)総務課長 | 阪本 明日香 |
| 企画指導課長 | 小松 庸介 |
| 業務課長 | 大山 淳 |
| 木材販売課長 | 奥山 総一郎 |
| (兼)津山支所長 | 近藤 晃 |
| 新見支所長 | |
| 勝山支所長 | |

役員一同





岡山県農林水産部長
榎尾 俊之

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、平素から森林・林業行政をはじめ県行政の全般にわたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本県のヒノキをはじめとする人工林は、本格的な利用期を迎えており、豊富な森林資源の循環利用に向けて、意欲と能力のある林業経営者を育成しつつ、新たな木材需要の創出や安定的・効率的な県産材の供給体制の構築等を進め、林業の活性化を図ることがますます重要となっております。

県では、このような課題に対応するため、昨年4月からスタートした新たな県政推進の羅針盤「第3次晴れの国おかやま生き活きプラン」に基

づき、意欲と能力のある林業経営者に森林経営を集積・集約化し、花粉の飛散低減等、環境にも配慮した林業生産活動を持続的に展開するとともに、県産製材品の品質向上と販路拡大、循環資源である木材・木質バイオマスの利用等を推進しているところ です。

また、昨年4月には「森林組合法の一部を改正する法律」が施行され、組合間の新たな連携手法の導入、正組合員資格の拡大、販売事業等に関する実践的な能力を有する理事の配置等の項目が追加され、森林組合は意欲と能力のある林業経営者として、森林経営の集積・集約化と、木材販売等の強化を通じて、山元への一層の利益還元を進めていくことが求められています。

この法律の改正を通じて、森林組合の経営基盤が一層強化され、森林所有者をはじめ、林業従事者の方々の所得増大に繋がることを期待しております。

このような中、岡山県森林組合連合会並びに各森林組合におかれましては、間伐、再造林等の森

林整備の推進に加え、ドローンを活用した苗木運搬等、新たな技術への取組も行われています。

引き続き、地域や森林の現状に精通した林業経営の中核的担い手として、また意欲と能力のある林業経営者として収益性の向上と効率的かつ安定的な森林経営に取り組み、地域の森林整備と県産材の安定供給にご尽力を賜りますようお願いいたします。

最後になりますが、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。



農林中央金庫
岡山支店長
原田 大輔

謹んで新年のお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、当金庫業務につきまして、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症流行による健康面・経済面における被害という難局との闘いが続く一年となりました。

昨年10月には全国的な緊急事態宣言が解除され、経済活動も徐々に回復しておりますが、依然として農林漁業者にとっては厳しい局面であります。本年におきましても、引き続き、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息をお祈り申し上げます。

森林・林業におきましては、皆様ご存じのとおり「ウッドショック」と呼ばれる木材の世界的な供給不足、価格高騰に見舞われ、国産材も価格高騰となりました。このような背景の中、外国材から国産材へシフトする動きもあり、JForestグループをはじめとして、行政や民間の事業体等、様々な機関が一丸となつて対応することが重要であると認識しております。また、岡山県において

は、昨年7月にオープンした蒜山高原のサステナブルな新ランドマーク「GREENable HIRUZEN」をきっかけとし、県民の皆様の

さらなる林業への興味関心に繋がることを期待しております。

当金庫といたしましては、引き続き、林業ならびに森林組合系統の皆様への更なる発展に向け、適切な金融機能の發揮・多様な支援を掲げて活動を進めて参ります。具体的には、JForestグループの組織力強化に向けた支援として安全装備品の購入助成や、コンプライアンス研修会のサポート等を実施いたします。また、持続的な森林・林業経営に向けた支援として農中森力基金による民有林再生や、国産材利用拡大に向けた木製品寄贈等を行い、林業・森林組合系統の発展のために微力ながら尽力していく所存であります。本年も皆様のお役に立てるよう、これまで以上に一層積極的に取組を行う所存でございます。

結びになります。皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

笠岡市に檜ベンチ寄贈

農林中央金庫岡山支店は国産材の利用促進等環境・地域社会への貢献活動を行っている。その一環として、岡山県産材を使用したベンチ7基を笠岡市に寄贈され、岡山県森連は、ベンチ制作の協力をした。

11月28日に笠岡諸島交流センターで寄贈式が行われ、農林中央金庫支店長と県森連専務が、小林嘉文笠岡市長にベンチの目録を手渡した。市長は「県産材の手触り、木の良さを感じていただければ。今後は国産材に目を向けて活動していきたい」と話された。

ベンチ7基のうち、3基には北木石、白石島みかげの一部に使用しており、県産材と地元文化とのコラボレーションが鮮烈である。





全国森林組合連合会

代表理事会長

中崎 和久

令和4年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、弊会の業務運営につきまして特段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、一昨年来猛威を振るってきた新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種の進展をはじめ感染防止対策が講じられておりますが、引き続き慎重な対応が求められております。

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、医療関係者のご尽力に敬意を表します。

また、コロナ禍で混乱する経済情勢や世界的な木材需給の変動など、森林組合系統の経営環境にも大きな影響が生じているところですが、事業活動継続にご支援、ご尽力いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、森林・林業を取り巻く情勢は、昨年6月に新たな「森林・林業基本計画」が閣議決定され、森林・林業・木材産業のグリーン成長と2050年のカーボンニュートラル達成を踏まえた豊かな社会経済の実現を目指す方針が示されました。

また、「公共建築物等木材利用促進法」が「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」へ改正され、木材利用の促進対象が公共建築物から民間建築物へと拡大されています。

こうした諸施策が講じられ、森林環境護与税の活用や森林経営管理制度が推進される一方、林業の成長産業化の実現に向けては、生産基盤である路網整備の推進やスマート林業の導入等が必要であり、「緑の雇用」事業の拡充等による人材の確保・定着も進めていかなければなりません。

また、昨年4月に施行された改正森林組合法では、組合間の多様な連携や正組合員資格の拡大、事業執行体制の強化等が措置されており、新たな仕組みを活用しながら経営基盤の強化を図ることとしています。これに対し、森林組合系

統は、昨年10月28日に、第29回全国森林組合大会を開催し、新森林組合系統運動「JForestビジョン2030」を決議いたしました。

本運動では、地域森林の適切な利用・保全と林業経営の更なる発展に向け、組合員サービスの向上、働く人の所得向上と就業環境改善、事業拡大と効率化による経営の安定を目指すこととしており、この達成に向け、①都道府県・市町村と連携した地域森林管理体制の確立、②循環型林業の確立と系統の木材販売力の強化、③高度人材の確保・育成、④協同組合として組合員に信頼される組織体制の確立、⑤国民生活及びSDGsへの貢献を加速させて参ります。

協同の力による積極的な運動推進により、国民、組合員の期待に応える組織体制を構築する所存であり、引き続き森林組合系統へのご指導、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、コロナ禍が一刻も早く終息し、本年が皆様にとり幸多き一年となりますよう祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

県森連の新たな取組

岡山県森連では、令和3年度から「伐って・使って・植えて・育てる」という林業のサイクルを循環させるために、販売強化・コストの削減を図るなどの、新たな取組を行っています。今回は、**所有林整備**についてご紹介いたします。

所有林整備

持続的な林業経営には、再造林費用の低減を図ることが必要であり、低減方法の検討が課題となっております。

そこで、当会では、皆伐再造林の低コスト化を検証し、森林所有者等への普及啓発に活用することを目的として伐採から造林までを同時期に行う一貫作業による実証を行いました。

実証は、新見市大佐町大井野にある当会所有林(30ha、樹齢約80年、スギ林)で実施し、皆伐作業時に重機による地拵え(重機で届く範囲)も併せて実施し、経費の軽減を試みました。皆伐後、地拵え及びスギのコンテナ苗による植栽を行ないました。地拵えは、スギ皆伐地ということもあり枝葉残材が多く、機械地

拵えを実施していなかった場合、倍以上の人手がかかったと推定されます。植栽はhaあたり2千本と疎植をし、次年度以降の下刈り作業の低減等による育林の低コスト化について今後検証をすすめて参ります。

また、実証とは別に皆伐作業中において、当会若手職員による作業現場の視察研修を行い、どのような工程で共販所に出荷いただいているのかを学びました。「危険と隣り合わせで作業して出荷された丸太であることを知り、共販所で重機やリフトで扱う際は、これまで以上に丁寧な扱おうと思いました。」という感想があり、実りある研修となりました。



▶作業の様子

森林保険



本年も森林保険の加入促進等のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

緑の雇用集合研修が修了 新たに7名のフォレストワーカー誕生

令和3年12月3日、緑の雇用3年生の集合研修が終わり、新たに7名のフォレストワーカーが誕生しました。

例年と比べ人数は少なかったですが、その分お互いにコミュニケーションが良く取れており、現地講習では合図、安全確認等の連携も上手く取れていました。研修最終日には、一人ひとりに今後の決意表明をしてもらいました。「あつというまの3年間でしたが、現場で会ったら声を掛けて下さい」「みんなケガのないように林業を続けていきましよう」とさまざまな感想や、安全に対しての意見も多くありました。



▲研修を修了した緑の雇用3年生研修

緑の雇用のカリキュラム及び資格をすべて修了して、これからは研修生ではなく、一人前の林業従事者として会社からの要求も増えていくと思います。また後輩に対して指導していく立場となっていくので、安全意識を高く持ち、岡山の林業で活躍していくことを期待します。また、次はフォレストリーダー研修で再会出来ることを楽しみにしております。

フォレストリーダー研修

令和3年12月21日、現場技能者キャリアアップ対策事業フォレストリーダー研修の修了式を執り行いました。今年度も多くの方に受講していただき、新たに24名のフォレストリーダーが誕生しました。

今年度のフォレストリーダー研修はフォレストワーカー修了生が多く、多くの方が互いに顔見知りだったため、研修のグループワークでは時間が足りなくなるほどの意見が挙がるなど充実した研修となりました。フォレストリーダー研修は、



▲研修を修了したフォレストリーダー

フォレストワーカーからのキャリアアップを目的としているため、「安全指導」「コスト管理」「作業道作設」「目標林型」等、現場管理や指導者としてのスキルアップを目指す研修であり、修了者には、自分自身の知識・技術向上はもちろんですが、作業班員、新人等への教育についても期待しております。今年度のフォレストリーダー研修は、林業技術研修棟(勝央町)を活用し、伐倒練習機などで伐倒の指導方法、VRによる労働災害体験など貴重な研修が出来ました。今後この研修棟を活用し、新たな林業従事者の育成及び指導を実施し、岡山の林業を盛り上げていくと共に、労働災害ゼロを目指していきたいと思います。

市日	場所	備考
1月6日(木)	勝山→津山	初市
1月13日(木)	新見	初市
1月19日(水)	勝山→津山	-
1月21日(金)	新見	-
1月27日(木)	勝山→津山	-
2月1日(火)	新見	-
2月9日(水)	勝山→津山	特別市
2月10日(木)	新見	-
2月17日(木)	勝山→津山	-
2月22日(火)	新見	特別市
2月25日(金)	勝山→津山	特別市

長さ	径級(cm)	杉(千円/m ³)			径級(cm)	桧(千円/m ³)		
		直	小曲	大曲		直	小曲	大曲
3m	7 ~ 13	本300円	-	-	7 ~ 13	本300円	-	-
	14 ~ 16	14	-	-	14	11	9	-
	18 ~ 20	14	-	-	15 ~ 16	32	21	16
	22 上	14	10	-	18 ~ 20	21	20	16
4m	22 上				22 上	22	20	10
	7 ~ 13	本400円	-	-	7 ~ 11	本400円	-	-
	14 ~ 16	11	-	-	12 ~ 13	本900円	-	-
	18 ~ 20	11	9.5	8.5	14	25	-	11
	22 ~ 28	13	11.5	8.5	16 ~ 18	30	27	11
6m	30 上	13	11	8.5	20 ~ 22	27	26	18
	24 上				24 上	27	26	18
	16 ~ 20	17	15	-	17	46	44	-
	22 ~ 28	-	-	-	18	48	46	-